

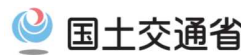
## 国土交通データプラットフォーム(仮称)の検討の背景

<p>統合イノベーション戦略 (H30.6 閣議決定)</p>	<p>様々な分野のデータが垣根を越えてつながるデータ連携基盤を整備し、組織や分野を越えたデータの利活用等を通じて新たな価値の創出を目指すべき将来像として提示</p>
<p>Society5.0実現による日本再興 ～未来社会創造に向けた行動計画～ (H29.2.14) 一般社団法人 日本経済団体連合会</p>	<p>国土全体に広がる3次元のデータベース「バーチャル・ジャパン」を官民で協力して構築することを提示 <small>(具体的には、地形や地質などの地理空間情報を結合した静的データと災害、環境、気象、交通、都市、エネルギー、水などの動的データを連携させたデータベースを構築)</small></p>
<p>国土交通省デジタル・ガバメント中長期計画 (H30.6 国土交通省IT政策推進本部決定)</p>	<p>行政保有のデータのオープンデータ化、APIの整備、標準化・共通化の推進等、データの活用の促進等の方向性を提示</p>
<p>社整審・交政審 技術部会 国土交通技術行政の基本政策懇談会 中間とりまとめ (H30.11)</p>	<p>データ駆動型の行政の推進(データに基づく政策立案・実施、民間のイノベーションを促進)と、そのためのデータ連携基盤の構築について提言</p>

⇒ 国土交通データプラットフォーム(仮称)の整備計画を策定し、各種データの横断的活用によるサービス向上や新産業の創出についての施策を「生産性革命プロジェクト」としてとりまとめ

1

## 国土交通データプラットフォーム(仮称)構想



## 目的

国土交通省が多く保有するデータと民間等のデータを連携し、**フィジカル(現実)空間**の事象を**サイバー空間**に再現する**デジタルツイン**により、業務の効率化やスマートシティ等の国土交通省の施策の高度化、産学官連携によるイノベーションの創出を目指す。

具体的には、以下の活用を可能とする国土交通データプラットフォーム構想の実現を図る。

- ① **国土に関する情報をサイバー空間上に再現するインフラデータプラットフォーム**を構築
- ② インフラデータプラットフォーム上に経済活動や自然現象のデータを用いて**サイバー空間上でシミュレーション**を実施
- ③ サイバー空間上でシミュレーションした結果を**フィジカル空間に反映**し、課題解決を図る

## 対象

- ① **国土**に関するデータ(基盤地図、地盤情報、構造物に関するデータ)
- ② **経済活動(人や物の移動等)**に関するデータ(交通、物流、観光等に関するデータ)
- ③ **気象等の自然現象**に関するデータ(気象、防災等に関するデータ)

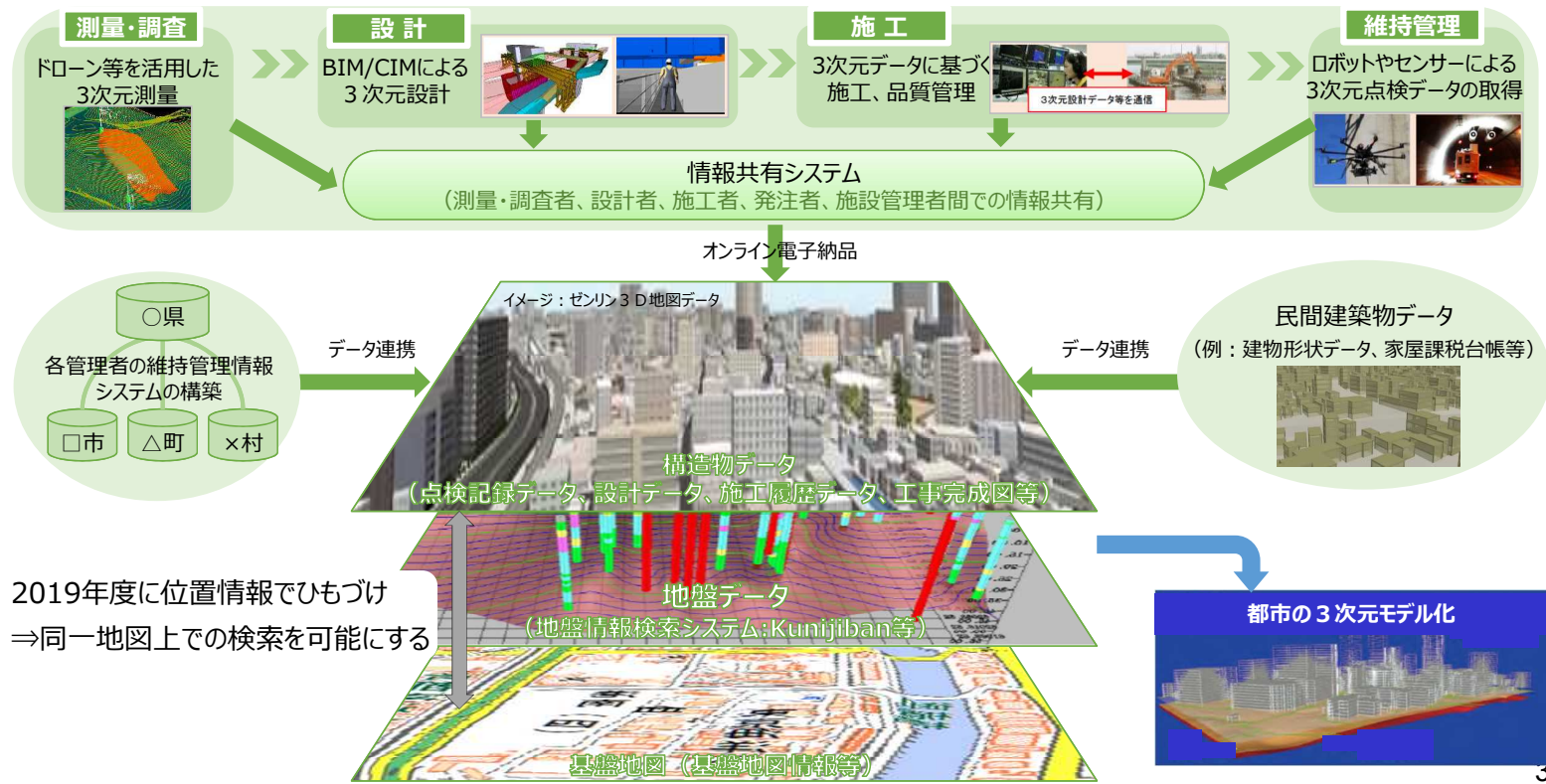
## 整備方針

- ① 個々の**データベースの充実・拡充**
- ② 分野ごとの**検索機能の構築・高度化**
- ③ **サイバー空間上でのデータの再現機能の構築**

2

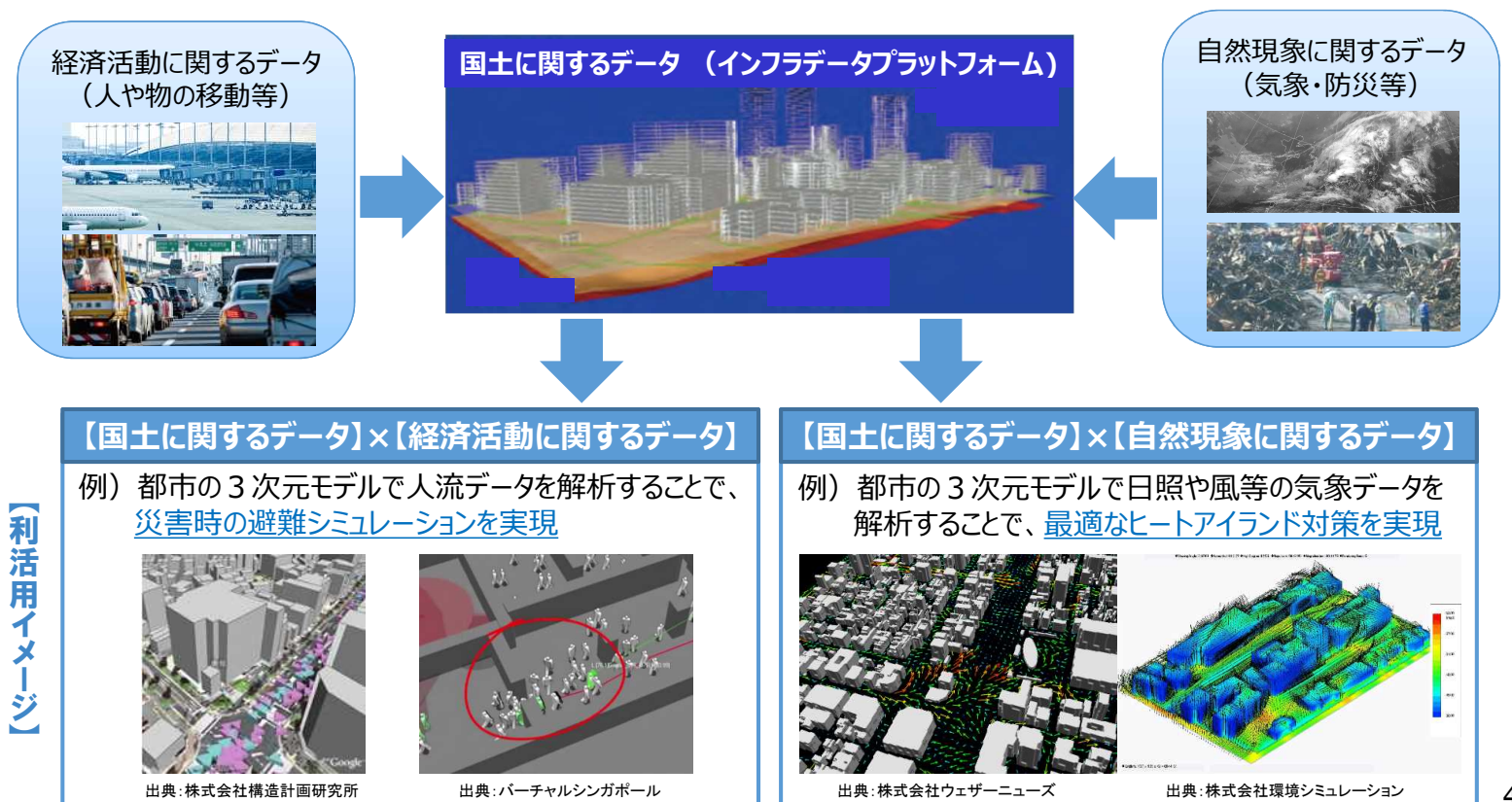
# インフラデータプラットフォームのイメージ

- 国土に関する情報をサイバー空間上に再現するインフラデータプラットフォームを構築
- 2019年度に基盤地図上に地盤データと構造物データを位置情報でひもづけ、同一地図上に表示
- また、2019年度に一部の地域において都市の3次元モデル化を試作
- 都市の3次元モデル化にあたっては、自治体構造物データ及び民間建築物データとも連携



# 国土交通データプラットフォーム(仮称)のイメージ

- インフラデータプラットフォーム上に経済活動や自然現象のデータを用いてサイバー空間上でシミュレーションを実施
- サイバー空間上でシミュレーションした結果をフィジカル空間に反映し、課題解決を図る



【活用イメージ】

- 2018年度 国土交通データプラットフォーム整備計画(仮称)の策定
- 2019年度 インフラデータプラットフォームの構築・分析の試行を実施  
 ※基盤地図上に地盤データと構造物データを位置情報でひもづけ、同一地図上に表示  
 一部の地域において都市の3次元モデル化を試作
- 2020年度 分野間データ連携基盤の整備
- 2022年度 分野間データ連携基盤の本格稼働

※統合イノベーション戦略(H30.6.15閣議決定)  
 「分野間データ連携基盤を3年以内に整備、5年以内に本格稼働」

## 国土交通データプラットフォーム(仮称)整備の検討体制

